年間授業計画　新様式例

高等学校　令和7年度　　教科　家庭科　　科目　家庭基礎

教　科：　家庭科　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　E　組

教科担当者：（A組：）　（B組：）　（C組：）　（D組：）　（E組：）

使用教科書：（ 家庭基礎　つながる暮らし共に創る未来　）

使用教材：（ プリント、タブレット等

教科　家庭科　の目標：

【知識及び技能】　人間の将来にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなど、障害を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　さまざまな人々と共同し、地域社会に参画しようとすると共に、自分や家庭、地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の障害にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会のかかわりについて理解をしているとともに、それらにかかわる技術を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題をせて致死、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域生活を想像し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	これからの人生について考えてみよう 「知識及び技術」 自分や人の一生についての考えをまとめる 「思考力・判断力、表現力」 社会の状況を考えながら自分の生活や将来についての考え方をまとめ、表現する。 「学びに向かう力、人間性等」 自分の生活や将来について考えることに意欲をもって取り組む。	・指導事項 自分の未来予想図を描こう これからの人生をﾃﾞｻﾞｲﾝする ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタル・コンテンツ等 ・一人一台端末の活用	「知識・技能」自分や人の一生について考えをまとめることができる。 「思考・判断・表現」 社会の状況を考えをまとめながら、自分の生活や将来についての考えをまとめ、表現することができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 自分の生活や将来について考えることに意欲をもって取り組もうとしている。	○	○	○	3
	食生活をつくる 「知識及び技能」 日本の食文化、食事の意義や役割、栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につける生かすことができる。 「思考力、判断力、表現力等」 自分自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考、解決に向けての行動ができるようにする。 「学びに向かう力、人間性」 自分自身の食生活に関心を持ち、食生活について意欲的に改善・向上に努める。調理実習では班員と協力して効率的に作業することができるようにする。	・指導事項 私たちの食生活 栄養と食品のかかわり 食品の選び方と安全 ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタル・コンテンツ等 ・一人一台端末の活用	「知識・技能」栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に活かすことができる。 「思考・判断・表現」 自分自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての行動や判断ができるようにする。 「主体的に学習に取り組む態度」 自分の食生活に関心を持つとともに、食生活について意欲的に改善向上につとめる。 調理十種うにおいて、積極的に参加し、班員と協力して効率的に作業することができる。	○	○	○	13
	消費行動を考える 「知識及び技能」 消費行動についてのさまざまな情報を収集し、自分の消費行動を検証することができるようにする。消費行動における意思決定の過程とその重要性を理解でき、またその契約について知識を身につけている。 「思考力、判断力、表現力」 消費行動における意思決定の過程について具体的な事例を通して主体的に考え、判断できるようにする。 「学びに向かう力」 自分が一消費者であることを自覚し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に理解、行動しようとする。	・指導事項 消費行動と意思決定 消費生活の現状と課題 消費者の権利と責任 ライフスタイルと環境 ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタル・コンテンツ等 ・一人一台端末の活用	「知識・技能」 消費行動における意思決定の過程とその重要性を理解でき、またその契約についての知識を身につけている。 「思考・判断・表現」 消費行動における意思決定の過程について具体的な事例を通して主体的に考え、判断できるようにする。 「主体的に学習に取り組む態度」 自分が一消費者であることを自覚し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に理解、行動しようとする。	○	○	○	10
2学期	自分らしい生き方と家族 「知識及び技能」 結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 「思考力、判断力、表現力等」 家族・家庭や労働、家庭労働に関する課題について考える。 「学びに向かう力」 家族・家庭、結婚、家庭労働の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味関心を持たせる。	・指導事項 自立と共生 ライフキャリア 共に生きる家族 家族に関する法律 ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタル・コンテンツ等 ・一人一台端末の活用	「知識・技能」生活に関わる結婚、家族・家庭の意義や機能について理解できる。 「思考・判断・表現」 家族・家庭に関する課題・問題点について自らの考えをまとめることができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 家族・家庭の形、役割について自分がどうかかわっているのか興味、関心を持ち取り組んでいる。	○	○	○	7
	衣生活をつくる 「知識及び技能」 小物の制作を通して基礎的な縫製技術を身につける。 衣生活についての科学的な知識を身につける。 「思考力、判断力、表現力」 小物制作において材料と使用目的を鑑み適切な自己表現を施す。 「学びに向かう力、人間性」 衣生活を取り巻く状況について関心を持ち衣生活の改善向上に取り組めるようにする。	・指導事項 人と衣服の関わり 衣服の素材の種類と特徴 衣服の選択から管理まで 小物の制作 ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタル・コンテンツ等 ・一人一台端末の活用	「知識・技能」 小物の制作を通して基礎的な縫製技術を身につけることができる。 「思考・判断・表現」 衣服についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において適切な判断ができるようにする。 「主体的に学習に取り組む態度」 衣生活を取り巻く状況について関心を持ち衣生活の改善・向上に取り組めるようにする。	○	○	○	14
	子どもと関わる 「知識及び技能」 子どもの心身発達や子ども生活についての知識を身につける。命の尊さ、子育ての意義について理解させる。 「思考力判断力・表現力」 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く環境について課題を見つけ解決への考えをまとめる。 「学びに向かう力、人間性」 子どもの発達の様子や生活に興味関心を持ち、こどもを取り巻く状況について課題を見つけ、解決に向けて考えさせる。	・指導事項 子どもとは 子どもの発達 子どもの生活 子どもをはぐくむ ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタル・コンテンツ等 ・一人一台端末の活用	「知識・技能」 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけさせ、命の尊さ、子育てについての意義について理解させる。また、こどもを取り巻く環境の重要性、こどもの福祉についても理解する。 「思考、判断力表現力」 子どもの心身の発達、現在の事Ｄもを取り巻く環境について課題を見つけ解決への考えをまとめる。 「主体的に学習に取り組む態度」 子どもの発達の様子や生活に興味関心を持ち、こどもを取り巻く状況に課題を見つけ解決に向けて考える。				7
3学期	住生活をつくる 「知識及び技能」 住まいの役割・機能、住まいと健康・安全とのかかわりを理解し、実生活に役立てることができるようにする。 「思考力、判断力、表現力」 ライフスタイル、ステージに応じた自分や家族にあった住まいを考える。 「学びに無悪力、人間性」 住まいの機能住環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識させる。	・指導事項 人間とすまい 健康と住まい 安全な住まい 持続可能な住まい ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタル・コンテンツ等 ・一人一台端末の活用	「知識・技能」 住まいの役割・機能、住まいと健康・安全とのかかわりを理解し実生活に役立てる事ができる。 「思考・判断・表現」 ライフスタイル、ステージに応じた自分や家族にあった住まいを考える。 「主体的に学習に取り組む態度」 住まいの機能、住環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識する。	○	○	○	16
						合計	70